年間授業計画 新様式例

高等学校 令和 5 年度 (1 学年用) 教科 国語 科目 現代の国語 国語 科 目: 現代の国語 単位数: 2 単位

 教 科: 国語
 科 目: 現代の国語

 対象学年組:第 1 学年 1 組~ 5 組

 教科担当者: (1組: 松本 (2組: 福間 (3%))
 (3組:松本 (4組:福間 (5組:松本 (組:)

使用教科書: (『新編 現代の国語』大修館書店

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わるうとする態度を奏う。

科目 現代の国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や他者との関わりの中で伝え 合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深	
		言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度 を養う。
		で食り。

		¥ - の日はなれば日本	北漢在日 中南	領域		ŧ	St. II + 1- 14-			4t	配当
は、		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話・聞	書	読	計価規模	체	芯	悲	時数
□		・筆者の主要をおまえて、今の時代をどのように生きていくか、高校生活で何に取り組むかなどについて、自分の考えを深める。(思考力・判断力・表現力) ・筆者の主要に対して積極的に自分の意見を述べ、「現代の国脈」の学習について量体的が均負をもようとする。	ワークシート	0		0	- 主要と世異などの関係について理解している。 【思考・判断・表現】 - 「酸なこと」において、文章の内容や構成、論理の展開を的様にとらえ、要旨 や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組入態度】 - 業者の主要を未まえて、「現代の国語」の学習に機構的に取り組もうとしてい	0	0	0	9
###		る。(知識・技能) ・ 筆者の体験と「コミュニケーション」との関係に着目し、筆 寄わ主張の展開のしかた台的館にとらえる。 ・「スポーツ」と「コミュニケーション」の共適点を的館に態 み取り、「スポーツ」の例の意図を理解する。(思考カ・判断 ・ 業者の主張し自分の体験や意見を関連づけ、具体的な自分の ・ 業者の主張し自分の体験や意見を関連づけ、具体的な自分の	ワークシート	0		0	・主要と振視などの関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「酸むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開を的確にとらえ、要旨 や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	8
###		定期考査						0	0		1
# 2		文を考えて使うことができるようになる。 (知識・技能) ・ 問題提起とそれに対する答えの部分を的確に理解し、その答えに対する自分の意見をもう。 ・ 二つの図と本文の関係を理解し、図を用いることの効果を考える。 (思考) 判断か、表現力) ・ 順序を表す:電楽や接続表現に関心をもち、自分で何文を書い ・ 10 日本の学館など思り、日)に、全人が、とめそかる子と、	どちらに近いか」 「ナンバーワンか、オンリーワン か」 ワークシート	0	0	0	・文、文章の効素的な服力など方が複数のしかたについて理解している。 ・機別の情報と一般化された情報と即隔はついて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「該対こと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的 確にとらえ、要件や要点を把握している。 【主称的に学習に即り組計機覧】	0	0	0	8
		寸ことの効果や説得力について考える。 (知識・技能) ・提起された問題を的能に理解し、それた対する筆者の答えを 把握する。 ・一般的な考えを示しておいてから、意外な事実を示す、など の構成提開の工夫を理解する。 (思考力・判断力・表現力) ・説明のしかたに関心をもち、接続表現などを用いた何女を自	味」 ワークシート	0	0	0	・文、実際の効果的な脚力なて方が複称のしかたについて理解している。 ・観別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 「思考・判断・表現] ・「膝打こと」において、内容や哨点、論理の展開などについて叙述をもとに的 端にとらえ、要称や要点を把握している。 【主称的に学習に即り組計機覧】	0	0	0	8
本来と離かの様々で振り、自分でもの文を考え。 (日本) で		定期考査						0	0		1
「本書きな国際所やおとが一下の意識ともえ、さらに自分		・ 具体と抽象の関係を理解し、自分でも何文を考える。 (知 強、技能) ・ 文章の内容や構成、 動理の展開を理解し、自分でも適切な例 文を考える。 (思考力・判断力・表現力) ・ 施理的に該むことに強い興味をもち、教科書以外の文章に も、主張と根拠、具体と油除、対社の関係などを見出そうとす	「商品と贈り物の違い」 ワークシート		0	0	- 主張と根板かと情報と情報との関係について環境している。 個別の情報と、現代と古た信頼との関係について環境している。 「思か・こ」に明十、表現して、、中部や構成、施理の展開などについて叙述をもとに的 「主た物に学習に取り込む作品」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0	0	0	12
## (定期考査						0	0		1
・筆者の主張に対して、ロブマイヤーの実験が 「世界は私にほほえんでいる」 「知識・技能」 ・主張と根拠など情報との関係について理解 かま現したの効果や説得力を吟味する。(知識・技 アークシート		でも具体例を考える。 (知識・技能) ・比喩的な実現を用いたことの効果や味わいについて考える。 ・筆春の修辞技法と思索の深まりについて考察を深める。 (思 努力・判断力・表現力) ・「水の東西」以外の文章においても、具体と抽象の関係など を見出そうとし、筆者の主機を把握する手がかりとしようとす	「情報の力関係」 ワークシート		0	0	て理解している。 一個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「認たこと」において、文章の種類をあまえて、内容や構成、論理の展開など について報託をもとに的論にとらえ、要旨 や要長を把握している。 提供 、「無解的に、学習に取り組む機関して」具体や抽象、対比の関係をとらえようとしてい 、機解的に、学習展観に沿のて、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしてい	0	0	0	12
振撼になっていることを理解する。 (知識・技能)		定期考査						0	0		1
	学	無拠になっていることを理解する。 (知識・技能) ・図の内容と筆者の主張との関係を理解し、その効果や説得力を吟味する。 (思考力・判断力・表現力) ・図との関係に注意しながら、筆者の主張を読み取ることに強い興味をもち、コミュニケーションにおける表情の役割について、考えを深めようとする。 (主体的に学習に取り組む態度)	「どこもかしこもプラスチック!」 ク!」 ワークシート		0	0	・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章や図を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開について評価したりし、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図との関係に注意しながら、筆者の主張を読み取	0	0	0	8
		定期考査						0	0		1
1 11											合計